

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【公開番号】特開2019-83494(P2019-83494A)
 【公開日】令和1年5月30日(2019.5.30)
 【年通号数】公開・登録公報2019-020
 【出願番号】特願2017-211284(P2017-211284)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 7/15 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 7/15 1 5 0

G 0 6 F 13/00 6 5 0 A

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月9日(2020.11.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

そこで本発明は、ウェブ会議システムにおいて、ソフトウェアから出力される音データを会議の参加者に共有させることが可能な仕組みを提供することを目的とする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明のウェブ会議システムは、ソフトウェアから出力される第一音データと、マイクから入力された第二音データとを取得する取得手段と、前記取得手段で取得した前記第一音データと前記第二音データとを合成して第三音データを生成する合成手段と、前記合成手段で生成された前記第三音データを送信する送信手段と、を備えることを特徴とする。

本発明のウェブ会議システムの制御方法は、ソフトウェアから出力される第一音データと、マイクから入力された第二音データとを取得する取得ステップと、前記取得ステップで取得した前記第一音データと前記第二音データとを合成して第三音データを生成する合成ステップと、前記合成ステップで生成された前記第三音データを送信する送信ステップと、を含むことを特徴とする。

本発明のプログラムは、コンピュータを、上記に記載の情報処理装置として機能させるためのプログラムであることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明によれば、ウェブ会議システムにおいて、ソフトウェアから出力される音データを会議の参加者に共有させることが可能な効果を奏する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ソフトウェアから出力される第一音データと、マイクから入力された第二音データとを取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した前記第一音データと前記第二音データとを合成して第三音データを生成する合成手段と、

前記合成手段で生成された前記第三音データを送信する送信手段と、
を備えることを特徴とするウェブ会議システム。

【請求項 2】

マイクを備える情報処理装置と、前記情報処理装置と通信可能なサーバ装置と、を備えるウェブ会議システムであって、

前記第一音データは、前記情報処理装置で動作する動画アプリケーションによって出力される音データと、他の情報処理装置が備えるマイクで入力され前記情報処理装置が前記サーバ装置から受信した音データとの少なくともいずれかの音データを含むことを特徴とする請求項 1 に記載のウェブ会議システム。

【請求項 3】

前記ウェブ会議システムは、前記情報処理装置と他の情報処理装置とで前記第三音データを共有する指示を受け付ける、共有指示受付手段を更に備え、

前記ウェブ会議システムは、前記共有指示受付手段で前記第三音データの共有指示を受け付けた場合は、他の情報処理装置のマイクで入力され前記サーバ装置から受信した音データを含まずに前記第一の音データを出力することを特徴とする請求項 2 に記載のウェブ会議システム。

【請求項 4】

前記合成手段は、前記共有指示受付手段で前記第三音データの共有指示を受け付けた場合は前記第一音データと前記第二音データとを合成することを特徴とする請求項 3 に記載のウェブ会議システム。

【請求項 5】

前記ウェブ会議システムは、前記共有指示受付手段で前記第三音データの共有指示を受け付けていない場合には、前記合成手段で前記第一音データと前記第二音データとの合成を行わないことを特徴とする請求項 3 または 4 に記載のウェブ会議システム。

【請求項 6】

前記ウェブ会議システムは、前記情報処理装置で表示している画像を送信する画像送信手段を更に備え、

前記画像送信手段は、前記送信手段で前記第三音データを送信する際に、前記画像を送信することを特徴とする請求項 2 乃至 5 のいずれか 1 項に記載のウェブ会議システム。

【請求項 7】

ウェブ会議システムの制御方法であって、

ソフトウェアから出力される第一音データと、マイクから入力された第二音データとを取得する取得ステップと、

前記取得ステップで取得した前記第一音データと前記第二音データとを合成して第三音データを生成する合成ステップと、

前記合成ステップで生成された前記第三音データを送信する送信ステップと、
を含むことを特徴とするウェブ会議システムの制御方法。

【請求項 8】

コンピュータを、請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載の情報処理装置として機能させるためのプログラム。